

令和2年度 第2回海外作家講演会

アラブ現代美術を日本で紹介すること —異文化理解、偏見、想像力—

講師：近藤健一氏（森美術館シニア・キュレーター）



ターレク・アル・グセイン 《無題 23 (D シリーズ)》 2008-09 年

東京、森美術館で 2012 年に開催された「アラブ・エクスプレス展」は、日本でアラブ世界の現代美術を大規模で紹介した初めての展覧会でした。近藤さんは共同企画者として、アラブ世界に関する知識がゼロの状態からリサーチを始め、現地を数回訪問して作家・作品を選定し、キュレーションを行いました。この講義では、その際に感じた日本とアラブ世界の精神的距離や異文化理解の困難さ、常につきまとう偏見、それらを乗り越えて思考しようとする際に必要な想像力という3つのポイントを軸に、本展の準備段階から、開催中、その後までを、具体的なエピソードを織り交ぜながら紹介していただきます。



講師プロフィール

ロンドン大学ゴールドスミス校美術史修士課程修了。専門分野は現代美術史・理論。森美術館での近年の企画に、「アラブ・エクスプレス展」(2012)、「カタストロフと美術のちから展」(2018)、「未来と芸術展」(2019)、小泉明郎(2009)、山城知佳子(2012)、アンディ・ウォーホル(2014)、Chim ↑ Pom(2021、予定)の個展。2014年～15年にはベルリン国立博物館群ハンブルガー・バーンホフ現代美術館客員研究員を務める。

日時： 2020年12月18日(金)17:40～19:10

会場： 視聴覚教室

※本学学生、本学関係者以外は聴講できません。